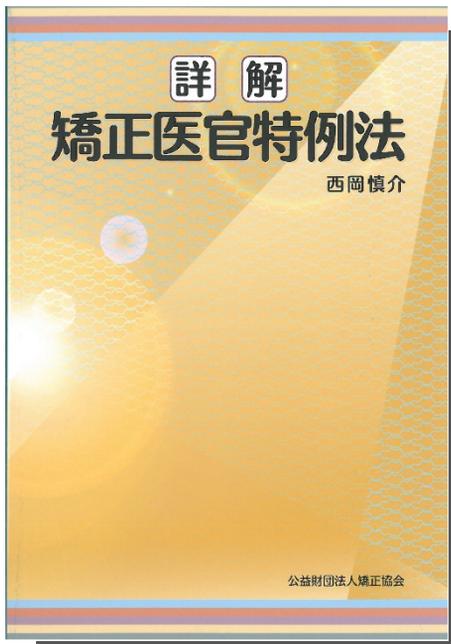


『詳解 矯正医官特例法』



矯正医官特例法を基礎から理解する体系的解説書！！

「矯正医官の兼業の特例等に関する法律」（いわゆる「矯正医官特例法」）の逐条解説のほか、人事と矯正医療の双方の実務に即した活用方法を分かりやすく解説。矯正医官が選択できる多様な勤務形態の可能性が示唆されており、矯正医官はもとより、矯正医官の採用に携わる人事事務担当職員や医務担当職員にも必携の書。

(著) **西岡慎介** 京都拘置所長(前法務省矯正局矯正医療企画官)

ISBN978-4-87387-018-2 A 5判・106ページ 定価**880**円 (本体800円+税10%)

目次

第1章 立法の経緯

第2章 目的

第3章 定義

第4章 国の責務

第5章 兼業

第1 兼業の特例の意義

第2 特例の対象となる部外診療

第3 部外診療の場所

第4 法務大臣の承認

第5 承認を要する兼業の形態

第6 給与の減額

第7 さく兼業の総量規制

第8 先例

第6章 フレックスタイム制

第1 フレックスタイム制の意義

第2 フレックスタイム制の要件

第7章 施設外勤務

第1 施設外勤務の意義

第2 施設外勤務の要件

第3 勤務のみなし制度

第8章 特例法の活用方法

第1 兼業とフレックスタイム制

第2 施設外勤務とフレックスタイム制

第3 部外診療と施設外勤務